

# ヨシナカ新聞

4月号

発行所

（株）北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL:03-3555-0796

## 桜と列車

開花したものの気候の影響もあって、この記事を書いている四月一日現在は、満開にはまだ日にちが必要

な桜ですが、少しでも桜の雰囲気味わって頂きたいと思っていたときに、鉄道写真を趣味としている大阪工場のM社員から写真を提供して頂きました。

撮影場所は、岐阜県の中央本線 落合川〜中津川間。平成21年4月の撮影とのことです。

列車は石油輸送の貨物列車で、長野県へ石油を輸送し、南松本で荷卸をした後空のタンク車を南松本から四日市へ返却する途上をMさんが撮影しました。

牽引の機関車は現在別のものに変わっており、現在はこちらでは見ることはできません。またこの塗装はJ



R広島工場特有のもので、当時中央線ではこの1両（EF64 67号機）のみだったそうです。今年も街中で新入社員を多く見かける季節になりました。

この写真を含めてMさんから提供の写真は、どれも列車と桜の相性がピッタリ方にとつて、ステンスの知識を学ぶことは避けられない状況です（大袈裟？）。しかし、会社から渡されるステンスの基礎知識の資料を読んでもさっぱり頭に入らなかつたので、お先真っ暗になつておられる方もおられるかもしれません（これも大袈裟か（笑））。

しかし、悲嘆しないでください。弊社ホームページでは、ステンレスが全くわからない方でも理解して頂ける『ステンレス豆知識』をアップしていただきますので、是非ご利用下さい。

C Mでした（笑）。

## ステンレス豆知識

0人なのに対して、5〜9歳は4,853人

と最も多いのです。

ではどうすれば7歳児の交通事故遭遇を防げるのか、事故には至らなかった危険体験から子ども自身が学ぶことで8歳児以降の交通事故が減少していることから、自宅でも可能なスケアードストリート方式の交通安全教育が注目を集めています。

『スケアードストリート』とは恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ手法。事故現場を再現してみせ、交通事故の恐ろしさを学ばせようということです。

そのスケアードストリートの映像がyoutubeに数多くアップされており、それを子供達に見せることで、交通事故防止を図ろうということです。

## スケアードストリート

4月は入学の月。小学校になりたての子供達が身体には大きすぎると思われるランドセルを背負って歩いている姿を見かけると、思わず微笑んでしまうのと同時に、なんだか応援したくなるような気持ちになってしまいます。

そんななか、歩行中の交通事故による死傷者の数が、すべての年齢のうち、7歳で際立って多いことが、交通事故の調査研究を行っている「交通事故総合分析センター」のレポートでわかったそうです。

2015年に発生した歩行中の交通事故による死傷者数を5歳単位で見ると、70〜74歳は4,149人、75〜79歳は4,29

さらに1歳刻みで死傷者数を見ると、死傷者のピークは7歳の1,462人で、他の年齢に比べて突出していることが明らかになりました。20〜60歳までの死傷者は各年齢とも600人前後、65歳以上の高齢者層でも800人前後となっており、7歳児の死傷者数が大変多くなっています。

自分で登下校する小学校に移るなかで、保護者などが行動に注意をしている6歳児、自分で比較的安全な行動を取れるようになる8歳児に対して、その中間の7歳児は、急激に活動範囲が広がることもあり、交通事故に巻き込まれやすい「魔の年齢」とな

## K社員のエレクtron奮戦記

映画音楽『白い恋人達』のレッスンが始まりました。エレクtron専用の楽譜がなかったため、ピアノの楽譜を買って来て、原曲を聞きながら、エレクtronの譜面（3段）に書き込んでいきます。

レッスンでこの作業を行うなかで、相変わらず先生の「聴く力」のレベルの高さに驚かされます。曲の中では複数の楽器が重なり合っ

て表現されています。ある箇所では主旋律の小節の最初の音だけ1オクターブ上がっている（その部分は他の楽器が主旋律を補っている）のもすぐ聴き取って教えて下さい。自分が聴いても全く違和感なく、同じ楽器の音だと思っていたので、編曲の奥の深さに驚くと同時に先生の能力の高さに尊敬以外の言葉が見つかりませんでした。

そんな中、悩みもありました。自分の住まいには電子ピアノしかないのですが、他の生徒さんのレッスンがない時間にレッスンスループを借りて練習するのですが、そのタイミングが合わず、練習時間をあまり取れなくなっていました。